

「グランシップ伝統芸能普及プログラム」大学連携事業  
**常葉大学教育学部の学生が能楽を体験します**  
～教員を目指す学生が能楽師から直接学び、国語・音楽等の授業に生かす～

## 1 要旨

公益財団法人静岡県文化財団・グランシップでは、平成22年度より「伝統芸能普及プログラム」を実施し、市町の文化施設や教育機関と連携して、能楽などの伝統芸能がもつ魅力や特徴などを多角的に紹介しています。今回は、教員を目指している常葉大学教育学部の学生が能楽師のお稽古を受け、国語・音楽等の授業に生かせるよう、自らが能を体験します。

## 2 概要

区分	内容
公演名	グランシップ伝統芸能普及プログラム 能楽ワークショップ―「伝えること」と「間」を切り口にして―
日時	平成25年12月14日(土) 9:50～14:30
会場	常葉大学静岡キャンパス たちばなホール(静岡市葵区瀬名1-22-1)
講師	山階彌右衛門(観世流シテ方 二十六世宗家観世清和氏実弟) 観世芳伸(観世流シテ方 二十六世宗家観世清和氏実弟) 川原恵三、金子聡哉、新江和人、大槻崇充(シテ方) 熊本俊太郎(笛)、岡本はる奈(小鼓)、亀井洋介(大鼓) 他
受講生	常葉大学教育学部 初等教育課程1～4年生 600名
講義内容 ※詳細は次頁参照	・講話(能楽について:山階彌右衛門) ・謡のグループ、シテ方・笛・小鼓・大鼓・太鼓のグループに分かれて体験 ・能楽師によるダイジェスト能「羽衣」の実演
本プログラムの 目的・特徴	<u>グランシップで継続している能楽公演を単なる興行的公演で終わらせず、地域と連携したプログラムとして構成しています。</u> また、各地で開催されているアウトリーチ事業は決まったものを様々な場所で同じように公演することが多く見られますが、本事業は各地域や機関の実情に合わせ、内容や出演者を個別に選定しています。能楽という芸術だけでなく、“能楽師”という演者・芸術家の人としての魅力にも触れることができます。 今回は大学生に能楽の知識を提供するだけでなく、学習指導要領に掲載されている事項を自分が体験できる貴重な機会となります。
主催	公益財団法人静岡県文化財団/常葉大学

## 3 取材申込・お問い合わせ

静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ

指定管理者:(公財)静岡県文化財団 企画制作課 電話 054-203-5714 (担当:法月・渡邊)